

令和1年度 放課後等デイサービス 事業者向け自己評価表
児童発達支援

のびの木 大船

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			利用者の人数に合わせ調整している
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	出入口は段差があるが活動スペースはフラットである
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月に1度パートスタッフを含めたミーティングを行い、毎日業務終了時に振り返りを行っている
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果の情報を基に、会議等で話し合い業務改善を前向きに行っている
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIにて公開している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、行っていく
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修・外部研修に参加し、資質向上に努めている
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントよりニーズを把握し、職員間でモニタリングを行い適切な支援計画を作成している
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ケース記録等、子ども一人一人のツールを使い療育に活用している
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者中心に立案し、ミーティングで共通認識確認を行っている
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各月、各週でプログラムを変え、子どもの状況にあった内容を提供している
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みには特別イベントを開催。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか				小集団活動、個別活動を提供内容や子どもの状況に合わせ計画している
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、ミーティングを行い。それぞれの担当療育項目に対する確認を行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個々のケース記録を作成し、振り返りを行い職員共通認識を行っている
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録（個人ファイル）・振り返りノートにて情報共有を行っている
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に行っている
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			行っている	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもに関わる適正な人員が参加している	

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			各学校の年間・月間予定、個別予定表を頂き、確認している
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアの必要な子どもの受け入れは基本的に行っていない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて行っている
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		開所2年目という事で現在、対象者はいない。今後、必要に応じて行っていく
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		児童クラブとの関わりはあるが交流会は行っていない。今後、機会があれば行っていきたい
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			鎌倉・横浜連絡会に積極的に参加している
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談・連絡帳・送迎時のフィードバックを通し、共通理解を図っている
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			個別に対応している
保護者への説明責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に細かい説明を行っている
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や電話、面談を活用し、行っている
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は実施していない
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			窓口を設け行っている
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のお便り、年2回の見学会を通し、発信している
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○			研修等行い、厳重に管理している
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			情報伝達を個々伝わりやすい方法で行っている
	㊀	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報の観点から行っていない
非常時等の対応	㊁	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	内容によって保護者に周知していないものもある。今後、周知していく
	㊂	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員・子どもを含めた訓練を年2回実施している
	㊃	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に数回、研修を行っている。また、常にミーティングに情報を取り入れている
	㊄	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			支援計画に記載し、毎日身体拘束の記録を付けている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの情報をもとに対応している
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例が発生した際は速やかに記載し、回覧物として職員全員が周知できるようにしている